



## CatTools v.3.6.0 情報

2011年04月04日  
ジュピターテクノロジー株式会社

この資料は、CatTools v.3.6.0 の情報を紹介するものです。

以下の内容を含みます。

- CatTools v.3.6.0 の新機能
- CatTools v.3.6.0 で変更された機能
- CatTools v.3.6.0 で修正された不具合
- その他

※この資料の情報源は、「[Kiwi Syslog Server - Version History](#)」です。



## 1 CatTools v.3.6.0 の新機能

ここでは、CatTools v.3.6.0 の新機能を紹介します。

- **Device Variations** (デバイスバリエーション)ユーザインターフェイス画面  
バリエーションをサポートするデバイスの **Device Information** 画面に **Variations**(バリエーション)タブが表示されるようになりました。
- デバイスバリエーションを複数デバイスに適用する機能  
デバイスグループとデバイスタイプに基づいて、1つのバリエーションファイルを複数のデバイスに適用できるようになりました。
- **SSH Client** フィールド(**Options** -> **Setup** -> **Misc** タブ)の追加  
手動による SSH セッションのサポートを提供します。
- 診断ファイル(TechSupport.zip)収集用画面  
CatTools 技術サポートに問題を報告する際に提出するログ、デバイスキャプチャファイルを簡単に収集できるようになりました。
- %HostAddress% ファイル名変数の追加
- **AlliedTelesis.AlliedWare.Plus** デバイスタイプの追加
- **APC.AOS.CLI** デバイスタイプの追加  
メニュー駆動インターフェイスではなく CLI を使用する最新デバイスのサポート(例: AP9630 UPS - Network Management Card 2)
- **Enterasys.Wireless.Controller** デバイスタイプの追加
- **Lantronix.EDS** デバイスタイプの追加
- **NEC.Univerge.IX** デバイスタイプの追加
- **Cisco.Wireless.LAN** デバイスタイプに **Device.Backup.TFTP** アクティビティを追加
- **HP.Switch** デバイスタイプに **Device.Backup.TFTP** アクティビティを追加
- **HP.Switch** デバイスタイプに **Report.CDP Neighbors table** アクティビティを追加
- **APC.AOS** デバイスタイプに **SSH1** および **SSH2 methods** を追加



- 以下のデバイスタイプにバリエーション機能を追加
  - Cisco.ACE
  - Cisco.CallManager
  - Cisco.Firewall.ASA
  - Cisco.NXOS (Nexus)
  - Alcatel.Switch.OmniStack
  - AlliedTelesis.AlliedWare.Plus
  - APC.AOS
  - APC.AOS.CLI
  - Bluecoat.Cacheflow
  - Brocade.Switch
  - DLink.Switch.General
  - Enterasys.Wireless.Controller
  - F5.BigIP
  - Juniper.Router
  - Lantronix.EDS
  - NEC.Univerge.IX
  - Nortel.Switch.Ethernet
  
- オンラインヘルプの検索機能



## 2 CatTools v.3.6.0 で変更された機能

ここでは、CatTools v.3.6.0 で変更された機能情報を紹介します。

- **Device Information** 画面上の **Telnet** ボタンを **Telnet/SSH** ボタンに変更  
CatTools は手動によるデバイスへのセッション確立時に、デバイスの **method** 値にもとづいて関連する Telnet/SSH クライアントを開始するように変更されました。
- デバイスの右クリックメニューに表示される **Telnet to device** を **Telnet/SSH to device** に変更  
CatTools は手動によるデバイスへのセッション確立時に、デバイスの **method** 値にもとづいて関連する Telnet/SSH クライアントを開始するように変更されました。
- **DB.UpdateDevice.Text field** アクティビティの変更  
**Group**、**Device Type**、**Connect Via**、**Method** フィールドの変更がサポートされました。
- **Device.Backup.TFTP** アクティビティの変更  
**%ctDateISO**、**%ctTimeHHMM** メタ変数の使用がサポートされました。
- **Cisco.ACE** デバイスタイプの変更  
初期設定でデバイスの出力から VT100 エスケープシーケンスが取り除かれるように変更されました。
- **Cisco.NXOS (Nexus)** デバイスタイプの変更  
ページングを無効にするために "terminal length 0" コマンドが初期設定で発行されるように変更されました(これは **Device Variations** 機能で上書きできます)。この変更により、デバイスの出力に Null が出現せず、また 80 文字で行が折り返されないようになります。
- **Cisco.Router.General** デバイスタイプの **Device.CLI.Send commands** アクティビティの変更  
**Device.CLI.Send commands** を使用して SCP 経由でファイルを転送するときの **username** と **password** プロンプトの処理が変更されました。
- **Cisco.Switch.IOS** デバイスタイプの **Device.CLI.Send commands** アクティビティの変更  
**Device.CLI.Send commands** を使用して SCP 経由でファイルを転送するときの **username** と **password** プロンプトの処理が変更されました。
- **Cisco.MDS.Fibre** デバイスタイプの **Device.Backup.Running Config** アクティビティの変更  
**Device.Backup.Running Config** を使用したときに "!Time" で開始する行が無視されるように変更されました。



- **Cisco.WAE** デバイスタイプの **Device.CLI.Send commands** アクティビティの変更  
**Device.CLI.Send commands** で **Run external script** 機能がサポートされました。
- **Cisco.Wireless.LAN** デバイスタイプの **Device.CLI.Send commands** アクティビティの変更  
**Device.CLI.Send commands** で **Run external script** 機能がサポートされました。
- **Bluecoat.Cacheflow** デバイスタイプの **Device.Backup.Running Config** アクティビティの変更  
**Bluecoat ProxySG** デバイスのページングプロンプト処理が変更されました。
- **Brocade.Switch** デバイスタイプの **Device.Backup.Running Config** アクティビティの変更  
**Device.Backup.Running Config** で "date =" で開始する行を無視するように変更されました。
- **Dell.Switch.CLI** デバイスタイプの **Report.Version table** アクティビティの変更  
**Report.Version table** でのスイッチスタックがサポートされるように変更されました。
- **F5.BigIP** デバイスタイプの **Device.Backup.Running Config** アクティビティの変更  
デバイスバリエーション経由で複数のコマンド(パイプ区切り)送信をサポートするように変更されました。
- **Juniper.Router** デバイスタイプの **Device.Backup.Running Config** アクティビティの変更  
"script being generated on" (Juniper ERX デバイスごとのコンフィグ出力)を含む行を無視するように変更されました。



### 3 CatTools v.3.6.0 で修正された不具合

ここでは、CatTools v.3.6.0 で修正された機能情報を紹介します。

- E メールアドレスのカンマにまつわる問題の修正  
Options -> Setup -> E-mail : General Options の E メールアドレスに入力された不要な (後続)カンマが自動的に削除されるようになりました。
- Cisco.Switch.IOS デバイスタイプの SSH1 接続処理の修正  
Cisco ASA の SSH1 接続問題 (v-1 スイッチを使用した接続) が修正されました。
- Cisco.NXOS (Nexus) デバイスタイプの Report.Error info table アクティビティの不具合修正  
多くの情報を取りこぼす不具合が修正されました。



## 4 その他

その他の情報(既知の不具合、ドキュメント更新等)については、弊社までお問い合わせいただくか、『[Kiwi Syslog Server - Version History](#)』をご参照ください。

以上